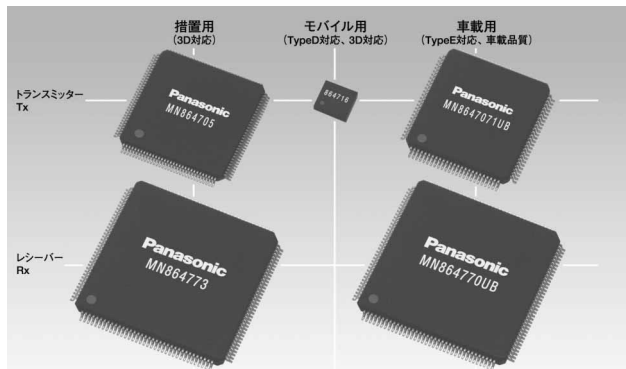


HDMI最新規格バージョン1.4の3D, タイプDコネクタ, タイプEコネクタ規格対応

世界初*, HDMI 最新規格対応LSIを開発

業界に先がけ2009年6月末より順次サンプル出荷開始



HDMI最新規格対応LSI (トランスミッター レシーバー) (2009年6月)

* 2009年6月29日現在, 当社調べ

HDMIバージョン1.4規格の3D (立体映像), タイプDコネクタ, タイプEコネクタ対応LSIとして

要旨

当社は, HDMI^[1]Licensing,LLCが公開した最新のHDMIバージョン1.4に準拠した据置用3D規格対応 (品番: トランスミッター (Tx)^[2]: MN864705, レシーバー (Rx)^[3]: MN864773), モバイル用タイプDコネクタ規格・3D規格対応 (品番: Tx: MN864716シリーズ), 車載用タイプEコネクタ規格対応 (品番: Tx: MN8647071UB, Rx: MN864770UB) のLSIを開発しました。モバイル用, 車載用は2009年6月末より, 据置用Txは2009年9月より, 据置用Rxは2009年10月よりサンプル出荷を開始します。

効果

本製品を使用することにより, 今後商品化が期待される, 3D映像の視聴が可能な据置型AV機器やモバイルAV機器, あるいは車載AV機器などのHDMIバージョン1.4の各種規格対応機器を容易に実現することができます。

特長

- 1) 据置用とモバイル用では, 3D映像を送送するための各種フォーマット対応により, 伝送フォーマットにかかわらず HDMIによるデジタル接続ができる機器を容易に実現可能
- 2) モバイル用では, ケーブル径が細いため伝送信号が減衰しやすいタイプDコネクタの信号を補正する機能を小型パッケージに搭載することにより, モバイル機器のHDMIデジタル接続における良好な伝送特性を容易に実現可能
- 3) 車載用では, タイプEコネクタを使用した車載ハーネス^[4]に対応し, かつ車載品質を満足することにより, HDMIデジタル接続対応車載AV機器を実現可能

内容

- 1) 各種の3D映像伝送フォーマットをハードウェアで検出し設定することを実現する, フォーマット検出設定技術
- 2) 細いケーブル径により劣化した伝送信号特性を補正する, モバイル伝送信号補正技術
- 3) 車内での配線引回しにより劣化した伝送信号特性を補正する伝送信号補正技術, ならびに自社工場での製造, 検査による車載品質を保証する技術

従来例

デジタルAV機器の標準接続規格であるHDMIが, 今回バージョン1.4として, 3D規格対応・モバイル用タイプDコネクタ規格対応・車載用タイプEコネクタ規格対応が新規格として拡張されました。当社は, 他社に先がけ, バージョン1.4対応AV機器を容易に実現可能な新規格対応LSIを開発しました。

用語の説明

- [1] HDMI (High Definition Multimedia Interface) : デジタル家電やAV機器向けに策定されたデジタル映像・音声入出力インターフェース規格です。
- [2] トランスミッター (Tx) : 送信機のことです, ここではHDMIのデジタル映像・音声信号を出力するLSIを指します。
- [3] レシーバー (Rx) : 受信機のことです, ここではHDMIのデジタル映像・音声信号を入力するLSIを指します。
- [4] 車載ハーネス : 車両内の信号通信用の電線を複数束ね, 機器への接続をしやすく工夫したものです。